

報告事項

平成24年度伝統芸能功労団体賞について

平成24年度伝統芸能功労団体賞について、別紙のとおり報告します。

平成24年8月23日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成24年度伝統芸能功労団体賞について

文化財課

このたび、平成24年度伝統芸能功労団体賞知事表彰の被表彰団体が決定し、下記のとおり第3回とっとり伝統芸能まつり（鳥取県・鳥取県教育委員会主催、第48回郷土の民俗芸能大会と併催）で表彰式が行われました。

記

1 被表彰団体

団体名	所在地	代表者	功績概要
越路雨乞踊り保存会	鳥取市	渡辺 勘治郎	昭和48年に国の記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財に選択されたことを機に保存会を結成。その前後から地区の米里小学校への指導を通して、保存伝承に尽力。平成16年からは地域民俗芸能再生事業も活用。平成20年には、15年ぶりに神社への奉納再現という現地公開を実現させた。

2 表彰式

- (1) 期日 平成24年8月5日(日) 午後2時から
- (2) 会場 米子コンベンションセンター多目的ホール(米子市末広町)

3 表彰の概要

- (1) 趣旨 県内の伝統的な芸能の保存団体の中で、後世への継承のために特に活発に活動を続けている団体に対し、その功労をたたえて表彰し、もって本県の伝統的な芸能の保存・継承を推進することを目的とする。
- (2) 表彰者 鳥取県知事

伝統芸能の概要

越路雨乞踊（こえじあまごいおどり）

鳥取市越路地区で伝承される、雨が授かったことを神に感謝する踊り。踊りは、「ささら摺り」を先頭に、踊りの総指揮者である「新発意」を中心とする30人ほどで構成され、それぞれ揃いの衣装で身を飾る。境内での本踊りは、円陣をつくり、花笠をかぶって締太鼓をたたきながら格調高く優美に踊ることを特徴としている。

雨乞いを本旨としながらも、極めて風流化された芸能として、昭和34年に県の無形民俗文化財に指定され、同48年に国の記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財に選択されている。



<参考> これまでの被受賞団体

年度	被受賞団体
H16	因幡の傘踊り保存会（鳥取市：県指定）、円通寺人形芝居保存会（鳥取市：県指定）、淀江さんこ節保存会（米子市：市指定）、日南神楽神光社（日南町：町指定）
H17	江波三番叟保存会（鳥取市：県指定）、倉吉打吹太鼓振興会（倉吉市）、米子盆踊保存会（米子市：県指定）
H18	覚寺麒麟獅子舞保存会（鳥取市）、覚寺さいとりさし保存会（鳥取市：市指定）、東郷町浪人踊保存会（湯梨浜町：県指定）、倭文神社大名行列保存会（倉吉市）
H19	賀露神社麒麟獅子舞保存会（鳥取市：県指定）、宇野三ツ星盆踊り保存会（湯梨浜町：町指定）
H20	三朝町さいとりさし踊り保存会（三朝町：県指定）、法勝寺歌舞伎保存会（南部町：町指定）
H21	せきがねさいとりさし保存会（倉吉市：県指定）、芦津獅子舞保存会（智頭町：県指定）
H22	日置はねそ音頭保存会（鳥取市：県指定）、小松谷盆踊保存会（南部町：県指定）
H23	勝部岩力踊り保存会（鳥取市：市指定）、泊貝がら節保存会（湯梨浜町：町指定）